

雪との闘い！（消流雪用水施設フル稼働）

昨年のクリスマス寒波以後、寒波が次から次と日本列島に押し寄せ平成18年豪雪に並ぶ勢いで積雪が増えています。1月31日時点の長岡市東川口で累計268cm。2月1日時点の魚沼市小出で累計268cmに達しており、堀之内管内においても自治体及び地域住民の必死の除雪作業が続いています。

堀之内出張所管内には川口消流雪用水及び堀之内消流雪用水施設があり、昨年のクリスマス寒波以来、フル稼働しており、地域住民の排雪作業の一助となっている。



堀之内地内旧与越川の排雪状況（H24.2.1）



消流雪用水ポンプ稼働状態（H24.2.1）

排雪作業中の地元の方に呼び止められ、消流雪施設により水量を増さなければ、とても雪を押し流せない。とても感謝している。との暖かい言葉をかけてもらいました。



川口消流雪用水施設呑口部土砂撤去(H24.1.17)

魚野川水位が低く、さらに水路に土砂が堆積していると流水を揚げられず、ポンプ停止してしまうため、降雪の中でも維持管理は欠かせない。

○ 川口消流雪用水ポンプ稼働時間 H23.12月～H24.1月の合計64H

○ 堀之内消流雪用水ポンプ稼働時間 H23.12月～H24.1月の合計160H

【施設の詳細は、<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/office/shisetsu.html> を参照願います。】

※消流雪用水施設とは、冬期間の積雪量が非常に多く、積雪が道路交通の阻害等住民に大きな支障を来している地域において、水量の豊富な河川から市街地を流れる流量の少ない河川に、消流雪用水を供給する事により、市街地の除雪作業の円滑化を図り、安全で快適な生活環境を確保しようとするものです。